

事業所名

児童発達支援センターぐるんばさか(児童発達支援)

支援プログラム(参考様式)

作成日

2024年

12月

26日

法人(事業所)理念	障害のある人たちが地域の中で理解され、いきいきと豊かで自分らしい生活を送ることが出来るように支援の充実に努めます。 「手をとりあって ゆっくり のんびり いっしょに 行こう」							
支援方針	保護者の方と共に、子どもさんの現在と将来の自立を目標に取り組みます。 アセスメントを基に、一人ひとりの障害特性や発達段階に合わせた関わりや必要な支援を行い、自分で気づいて取り組める力を伸ばしていきます。							
営業時間	9時	0分	から	15時	0分	まで	送迎実施の有無	あり (園で定めた基準により実施)
支援内容								
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 構造化や視覚的支援などの手法を用いて、障害特性に合わせた環境設定で活動を行います。 本人の現在の気づきやスキルをアセスメントして、スモールステップで生活スキルの学習を行います。 週5日、毎日の通所の中で、繰り返し学習機会を設定し、習慣が出来るように支援します。 						
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> プレイルームや園庭遊びの時間を設定し、体を使って活動する機会を作ります。 微細運動については個別の勉強場面から、工程を細分化して繰り返しの経験の中で獲得できるように支援します。 						
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 視覚的なスケジュールを活用し、子どもさんが見通しを持って行動できるように支援します。 手順書などの支援ツールを活用し、自立的に、また、人や場面が変わっても取り組むことが出来るよう支援します。 先生との個別の勉強場面や、自立課題を通して教科や概念の学習を行います。 						
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> モチベーションの高い場面や頻度の多い場面から、視覚的な手立てを活用した自発的なコミュニケーションの練習を行います。 子どもさんに合わせたツールを用いて、自分の気持ちを整理して相手に適切に伝える練習を個別の勉強場面から行います。 						
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 社会性の段階に合わせたグループ編成で、集団活動を行います。 個別の勉強場面で学んだ内容を活かして、集団の中でお友達や先生に適切に気付いて活動できるようにします。 子どもさんの理解に合わせて、視覚的な手立てを活用し、ルールや振る舞い方の学習を行います。 						
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> 連絡帳や送迎時を活用して、園と家庭の情報共有を行う。 必要時に家庭訪問を行い、家庭での関わり方や支援方法を考えている。 			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> 保育園と併用利用している場合は、障害特性を踏まえた一貫した支援を行うために、保育園と子どもの状態や支援内容の共有を行う。 就学先の先生に園に来ていただき、支援状況や手立ての説明を行う。 保護者を含めた関係機関で集まり、移行支援会議を行う。 		
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> 自立支援協議会へ参加し、地域課題の把握・解決に努めている。 保護者や所属する保育園の困り感に対して、必要に応じて訪問し相談援助を行う。 地域の保育園へ訪問し、希望する保護者に対して発達相談を行う。 健診や健診事後教室への参加を通して、地域の発達に課題のある子どもさんや保護者のサポートを行う。 			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> 施設内外での研修の実施、参加。 定期的な職員会議を開催し、一貫した支援のための情報共有を行う。 		
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> 親子活動(年3回程度：夏祭り、クリスマス会など) プール活動(7～8月) 修了・卒園式 							